

(はじめに)

当法人は、昭和 62 年 11 月 20 日に厚生労働大臣（旧厚生大臣）により設立が認可され、平成 23 年度に公益社団法人の移行申請を行い、平成 24 年 3 月 21 日付けで内閣府から公益社団法人として認定を受け、平成 24 年 4 月 1 日公益社団法人の登記を行いました。平成 30 年 3 月末現在、会員数は 805 名（正会員 690 名、準会員・歯科衛生士 100 名、賛助会員 15 社）です。

設立当時から研究実績、歯科医師等の教育研修の実績を重ね、歯科先端医療の普及向上を図り、歯科先端医療の水準向上を促進させたことにより、国民及び関係者の評価を受け発展してきました。これも、先駆者をはじめ、関係各位の多大の努力、研鑽の賜物であり、今後においても、更なる公益事業の向上に向けて、一層の礎の強化、発展に向けて努力を重ねてまいります。

当公益社団法人は、歯科先端医療に関する調査研究、開発及び実験並びにこれらの成果の普及に関する教育研修等を行い、もって専門的な知識に関する普及啓発、技術の向上及び国民の医療・福祉の向上に寄与するために以下の事業を行っております。

- (1) 歯科インプラント、歯科領域の移植、歯科外科矯正その他の歯科先端医療に関する調査研究、開発及び実験を行うこと
- (2) 歯科先端医療に関する教育研修を行うこと
- (3) 歯科先端医療の研究開発に顕著な貢献をした個人又は団体に対して表彰並びに助成を行うこと
- (4) 歯科先端医療に関する国際協力を行うこと
- (5) 歯科先端医療に関する普及啓発を行うこと
- (6) 再生医療委員会等を設置し再生医療等安全の確保を行うこと
- (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業を行うこと

また、上記に掲げる事業目的を達成するために、当分の間、次の事業区分を中心に事業を展開します。

1. 研究開発事業に関すること
2. 学術講演会・地区研修会事業に関すること
3. 市民公開講座に関すること
4. 機関誌に関すること。
5. インプラント学会認定講習会に関すること
6. 研修会、講習会及び学会出席（発表）を通じ、積極的な歯科先端医療研究（学術）の習得を促す事業に関すること
7. 委員会事業に関すること
8. 全国各地の学術に関する啓発を図り、歯科医師等の教育研修の活性化に関すること
9. 歯科医療に関する国際協力に関すること
10. 定時総会に関すること
11. 理事会に関すること

『事業報告』

1. 研究開発事業に関すること

歯科先端医療に関する調査・研究によって学術・技術の発展を図ることを目的として歯科大学の研究機関等との協力に基づき、共同研究を行っている。また、研究成果を学術大会、学術会誌等に連携させ公表している。今年度は以下のとおりです。

- 1) 研究内容は、「①ジルコニアの口腔インプラント材への応用に関する研究 ②顎骨再生技術の最適化に関する研究」

契約機関は、(株)経営科学研究所

- 2) インプラントに関する論文 (1 編)、発表 (20 編) 別紙一覧表に記載

- 3) 宇部実験所に関すること

建物、92.94 m² 銅板葺き、土地、(原野) 85 m²・45 m²・64 m²・320 m²・937 m²計 1.451 m²を宇部市大字川上字白石 704-28 に保有している。

2. 学術講演会・市民公開講座

【学術講演会の開催】

- ・創立 30 周年記念学術大会会員発表 (参加者 121 名)

平成 29 年 6 月 18 日 (日) 9 時 00 分～12 時 30 分 ホテルグランドパレスにおいて開催。

藤原 秀光 チタンのヒドロキシラジカル発生に関する実験的研究

金森 行泰 インプラント周囲のティッシュマネジメント

米山 俊之 歯科訪問診療で要介護高齢者に携わって思うこと

近藤 昌嗣 フルジルコニアによるクラウン・ブリッジの即日補綴
-Single Visit Zirconia-

今上 英樹 上顎前歯部に於ける Auto galvano crown (AGC) の有用性について

富口 直樹 チェアーサイド CAD/CAM システムでの上部構造の制作について

松江 正芳 インプラントと歯牙移動を応用して治療した先天性欠損歯を持つ一症例

新崎 博文 他歯科医院において埋入したインプラントのトラブルが主訴で当科を来院した患者の症例について

金藤 哲明 マイクロスコープ治療の過去と展望

昇 直美 患者に寄り添う歯科衛生士としてのコーディネートとは

小林由紀子 インプラントメンテナンスにおけるプロービング検査の重要性

野本 秀材 口腔内スキャナーがデジタルワークフローを変える

Oral scanner will change digital workflow

- ・学術講演会

平成 30 年 3 月 11 日 (日) 10 時 00 分～16 時 20 分 ステーションコンファレンス東京で開催。インプラント治療を取り巻く様々な学術情報について紹介した。

参加者 102 名 (会員歯科医師 73 名、非会員歯科医師 12 名、会員歯科衛生士 9 名、非会員歯科衛生士 6 名、一般 2 名)

会員発表 「インプラント治療 こんな時どうする」

- 三嶋 直之 非接触型静脈可視化装置を使用した安心・安全な採血方法の提案
築瀬 武史 上顎洞内に迷入したインプラント体を摘出した2例
近藤 昌嗣 1. ワンピースインプラントの臨床応用
2. インプラント体の破折について
林 直樹 インプラント手術時の静脈内鎮静法について
山根 晃一 他院で行ったインプラント治療に対する対応
岸 克好 Implant 歴史から学ぶ
新崎 博文 10代の歯牙欠損症例へのインプラント適応の検討
野村 智義 インプラントオーバーデンチャーは万能？固定性補綴装置へ方針変更した
超高齢期患者の一例
遠藤 富夫 歯周病患者へインプラント治療を行う際に留意すべき問題点とインプラント
周囲炎への対処方法
竹島 明道 インプラント、いつやるの？いまでしょ？え！ホントにいま？
老川 秀紀 Prosthetic Complication ～インプラント治療、こんな時どうする～
渡邊 麻貴 インプラント周囲粘膜炎に対するポリエーテルエーテルケトンチップの有用性

【市民公開講座の開催】

第1回市民公開講座

平成30年3月11日（日）13時30分～15時00分 ステーションコンファレンス東京で開催。
テーマは「顎骨壊死の科学的エビデンスとその実際」

—顎骨壊死検討委員会ポジションペーパー2016を有効に活用するために—

講師 黒嶋伸一郎 先生 長崎大学病院口腔・顎・顔面インプラントセンター准教授

参加者 102名

3. 【地区会学術講演会・研修会】

○（北海道・東北地区学術講演会・研修会、地区会長 三嶋 顕先生）

・ 第1回 平成29年11月12日（日）9時00分～16時40分

北日本口腔インプラント研究会と日先研北海道・東北地区会の合同研修会を札幌芸文館
ホテルで開催。（参加者148名）

講演メインテーマは「健康寿命を左右するインプラント治療」

教育講演「地域包括ケアシステムのなかで歯科医療が担う役割」

渡邊紀子先生 株式会社ライズリング 総合施設長

特別講演Ⅰ「口腔内スキャナーがデジタルワークフローを変える」

野本秀材先生 医療法人社団すみれ会理事長 サクラパーク野本歯科院長

特別講演Ⅱ「超高齢社会における歯科医療 オーラルフレイルに立ち向かうには」

越野 寿先生 北海道医療大学歯学部 教授

この他北日本口腔インプラント研究会会員3名による一般講演を行った。

○ (関東・甲信越地区学術講演会・研修会、地区会長 奥森直人先生)

- ・ 第1回 平成29年5月7日(日)10時00分～17時00分 日本歯科先端技術研究所で開催。
(参加者21名)

外部講師

写真技術講義【記録する 形に残す 感動を伝える】 And EM 宮元陽/章光 先生
欠損補綴におけるインプラント活用の再考 寺西邦彦 先生
新素材によるメタルフリー義歯 岩田哲也 先生

- ・ 第2回 平成29年11月19日(日)13時00分～16時00分 ビジョンセンター浜松町で開催。(参加者70名)

外部講師

総義歯臨床のプライオリティー 一難症例解決のKeyー 松丸悠一 先生

- ・ 第3回 平成30年1月28日(日)10時00分～17時00分 日本歯科先端技術研究所で開催。
(参加者 講義24名、実習19名)

外部講師

Dr. 殿塚のアドバンス実習コース 第2回

臨床に必要な骨欠損へのアプローチ

豚顎骨実質欠損への補填と吸収性メンブレンの実習

殿塚量平 先生 とのつか歯科ペリオ・インプラントセンター院長(東京都大田区開業)

○ (近畿北陸地区学術講演会・研修会、地区会長 森本恭司先生)

- ・ 第1回 平成29年10月11日(水)16時～18時40分 道頓堀敦煌6階会議室 (参加者46名)
内部講師 テーマ「バイコン・デンタル・インプラントシステムの特徴=ショートインプラントについて」

志賀 泰昭 先生 日先研会員

- ・ 第2回 平成30年2月25日(日)9時～12時30分

大阪市ホテルニューオータニ (参加者240名)

外部講師 テーマ「病院歯科口腔外科における口腔がん治療」

石濱 孝二 先生 大阪警察病院歯科口腔外科部長

外部講師 テーマ「食べることに問題のある患者に歯科は何かできるのか」

菊谷 武 先生 日本歯科大学教授

口腔リハビリテーション多摩クリニック院長

○ (中国四国地区学術講演会・研修会、地区会長 木村 英一郎先生)

- ・ 第1回 平成29年7月2日(日)9時～12時 山口県下松市アクティブリゾートホテル笠戸島
ハイツで開催。(参加者数11名)

内部講師 森本恭司 先生 日先研副会長

テーマ「CGF・AFGを用いた再生医療について」

- ・ 第2回 平成30年2月18日(日)9時～11時 山口県宇部市 日先研宇部実験所で開催。
(参加者8名)

外部講師: 三島克章 先生 山口大学歯科口腔外科教授

テーマ「口腔、顎、顔面の形態と機能の計測法の開発と症例応用について」

○（九州地区学術講演会・研修会、地区会長 金藤 哲明先生）

- ・ 第1回 平成29年11月25日（土）18時30分～20時 福岡県歯科医師会館（参加者14名）
外部講師：城戸寛史先生 福岡歯科大学 教授
テーマ「予知性の高い抜歯即時埋入―抜歯即時埋入の診査、診断、適応症―」

○（沖縄地区学術講演会・研修会、地区会長 新崎博文先生）

- ・ 第1回 平成29年8月6日（日）9時～16時30分 沖縄県歯科医師会立沖縄歯科衛生士学校
（参加者12名）
テーマ「スプラインインプラントの特徴／優位点審美領域への抜歯即時／大臼歯部への抜歯測
埋入／ソケットシールドテクニック／上顎ダブルベントテクニック法」
外部講師 林 揚陽 先生 日本大学客員教授 日本ピエゾ臨床研究会副会長
東京都新宿区開業

4. 【委員会報告】

1) 総務委員会（和手甚京 委員長）

平成29年度メールマガジンの配信・HPの更新は随時行い、学術大会・地区研修会・並びに関係団体主催の学術大会等の事業活動状況をタイムリーに情報提供を行っている。なお、平成29年度は第387号～第444号(58回)まで配信するとともにホームページを随時更新している。

2) 財務委員会（木村英一郎 委員長）

- ・ 第1回 平成29年5月11日(木)13時～15時、日先研において尾上雄平監事・佐藤隆幸監事から担当役員等の立会いのもとで監事監査を受けた。

講評として、監事から、「事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示している。又、計算書類および付属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に処理されている」との講評があった。

また、監査終了後、理事会、総会時の財務報告について平成28年度の収支決算報告書の作成にあたり引き続き打合を行った。

- ・ 第2回 平成29年11月30日(木)13時～15時、日先研にて平成29年度の4月から10月までの収支執行状況について打合せを行った。
- ・ 第3回 平成30年2月22日(木)13時～15時、日先研において平成30年度収支予算執行案と平成29年度の収支予算執行状況について打合せを行った。

3) 学術委員会（奥森直人 委員長）

1. 研究開発事業に関すること、2. 学術大会・市民公開講座、3. 地区学術講演会・研修会の項に記載。

4) 認定講習会委員会（竹島明道委員長）

公益社団法人日本口腔インプラント学会認定講習会開催を通して、歯科インプラント並びに歯科先端医療に関する専門的な知識の普及啓発と技術の向上に寄与し、もって歯科医療の普及向上を図ることを目的に実施している。同学会専修医申請には認定講習会を受講していることが必須条件となっており、当法人は同学会から指定研修施設の認定を受け開催している。

認定講習会の開催にあたり、歯科雑誌等に認定講習会の募集広告を広く掲載し、4月から12月まで（8月を除く）土曜日（15:00～19:45）と日曜日（9:00～16:15）の2日間を毎月1回開催し、基礎知識、インプラント基本手技、臨床、手術実習、生体反応（病理・病態）等の内容で単位数112の認定講習会を開催している。平成29年度受講者数は20名（会員19名）。この認定講習会は、当法人の中核的な事業であり、毎年計画時には、インプラントの先端治療等の研修内容の見直しを図っている。

5) 編集刊行委員会（溝口 尚委員長）

- ・編集委員会により日本歯科先端技術研究所機関誌（学会誌）23巻2号～3号、24巻1号を発行した。

本事業は、機関誌の発行を通じて歯科インプラント並びに歯科先端医療に関する専門的な知識の普及啓発と技術の向上に寄与するため歯科大学の先生ならびに会員から投稿された論文、症例報告や会員情報、各種委員会報告、各地区の研修会日程・報告、地区だより、会員紹介等、事業活動を掲載し、年3回機関誌として発行しており、学会誌の発行を通じて広く情報提供することによって歯科医師や国民の生活環境の保全と向上のために寄与している。投稿については論文投稿規定に基づき発刊し、当法人のパンフレット、入会案内等については随時見直しを行っている。機関誌は全国の歯科大学、歯科大学図書館、厚生労働省等の行政機関、関連団体に配布し、受益の機会は広く一般にも公表している。

- ・編集委員会開催は以下のとおり。

- 1) 平成29年5月20日（土）19時30～21時00分 ゼニス出版 第23巻2号
- 2) 平成29年9月30日（土）19時30～21時30分 ゼニス出版 第23巻3号
- 3) 平成30年1月13日（土）19時30～21時30分 ゼニス出版 第23巻1号

6) 国際渉外委員会（柴垣博一委員長）

この事業は、歯科の高度先進医療、口腔インプラント治療における高度の科学的・技術的な専門性が求められていることから、専門分野とする歯科医師が海外の先進的な歯科医療機関において国際的視点から歯科先端医療の向上、人材の育成を図ることを目的として、医療機関への研修等の依頼並びに研修先の医療機関の選定等を行っている。また、学術委員会と連携し、当法人が開催する学術大会の海外講師の選択も行っている。

今年度は学術大会のテーマに沿えなかったため招聘できなかったがこれからも海外の歯科大学等の医療機関と交流を深め歯科先端医療の向上と人材育成のため取り組む。

7) 認定衛生士・技工士委員会（石井洋行委員長）

- ・歯科衛生士等の歯科先端技術や知識の確保、口腔インプラント学の研鑽を図り、研修を通して多くの歯科衛生士等を育成している。

第11回認定歯科衛生士セミナー

平成30年1月21日（日）・2月18日（日）・3月11日（日） 9時30分～16時30分、

日先研・新宿鍼灸柔整歯科衛生専門学校・サピアタワー

受講者11名

- ・歯科衛生士を対象としたアドバンスな内容の講演会として、歯科衛生士アドバンスセミナーを開催した。

平成 29 年 11 月 5 日（日） 10 時～14 時 50 分 日先研

受講者 17 名（会員 8 名・非会員 9 名）

内容：医院の人間関係の改善、新人教育

8) MCI サポート認定委員会（奥森直人 委員長）

・社会問題となっている認知症ならびにその前駆症状とされる軽度認知障害(MCI)に平成 27 年から取り組んでいる。この研修会は、歯科医・歯科衛生士により軽度認知障害ならびに認知症に関わる広い学識と認知機能に関する「MoCA-J」スクリーニング検査の習得ならびに歯科分野における口腔機能管理をもって患者をサポートする技能を有する歯科医・歯科衛生士の養成を図り、認知症を早期発見し専門医に紹介することによって認知症医療に貢献することを目的とした事業である。

・軽度認知機能障害支援（MCI サポート）歯科医・歯科衛生士認定講習会を開催した。

平成 29 年 11 月 12 日（日）

平成 30 年 3 月 18 日（日）

開催場所はいずれも大阪大学中之島センター

受講者 66 名

歯科医師 会員 30 名 非会員 10 名 計 40 名

歯科衛生士 会員 12 名 非会員 9 名 計 21 名

助手 5 名

9) 資格対策委員会（野村明広 委員長）

・ケースプレゼンテーション試験対策

・第 1 回 平成 29 年 7 月 23 日（日）10 時～ 日先研 受講者 4 名

平成 29 年度は、(公社)日本口腔インプラント学会ケースプレゼンテーション試験を 7 名が受験し全員合格した。

氏名（敬称略）

今宮圭太、漆原剛起、山崎雄矢、渡邊正紘 以上 4 名は JSOI 専修医

金森行泰、鈴木拓也、戸尾善成

・(公社)日本口腔インプラント学会 専門医資格取得支援講習会。

・第 1 回 平成 29 年 7 月 22 日（土）20 時～ 日先研 受講者 2 名

・第 2 回 平成 29 年 8 月 26 日（土）20 時～ 日先研 受講者 2 名

この講習会は、日本口腔インプラント学会の専門医資格が取得できるよう当法人のインプラント学会指導医等の資格を持つ委員による支援事業である。

平成 29 年度は、インプラント学会専門医 受験者 1 名 合格者 1 名

氏名（敬称略） 飯田倫太郎

・日先研認定医試験

平成 29 年 4 月 12 日（水） 20 時～ 日先研 審査申請者 1 名 合格者 1 名

平成 29 年 12 月 10 日（日） 15：30～ 日先研 審査申請者 2 名 合格者 2 名

10) 倫理審査委員会（認定再生医療等委員会）（野村智義 委員長）

・研究倫理審査 3 件の倫理審査を行った。

平成 29 年 6 月 14 日～6 月 22 日

平成 30 年 2 月 22 日～2 月 27 日

同年 3 月 15 日～3 月 27 日

・認定再生医療等 審査申請なし

11) 地区会連携委員会 (森本恭司 委員長)

平成 30 年 3 月 11 日 (日) ステーションコンファレンス東京にて地区連携委員会を開催し、翌年度の学術大会、MCI サポート歯科医・歯科衛生士認定講習会等主要な行事について打合せを行った。

12) NFC (日先研フォローアップクラブ) (野村智義 専務理事)

認定講習会後のフォローアップを行うため NFC を立ち上げ、2 月に 1 度開催している。症例相談、学会発表予演等、幅広く会員の関心事に応じ、学術面での会員サポートを行っている。

平成 29 年 4 月 12 日 (水) 20 時～22 時 日先研 出席者数 13 名

6 月 13 日 (水) 20 時～22 時 日先研 出席者数 7 名

10 月 11 日 (水) 20 時～22 時 日先研 出席者数 12 名

平成 30 年 1 月 24 日 (水) 20 時～22 時 日先研 出席者数 16 名

3 月 14 日 (水) 20 時～22 時 日先研 出席者数 16 名

5. 【研修会、講習会及び学会出席(発表)を通じ積極的な歯科先端医療研究(学術)の習得を促す事業に関すること】

1) 平成 29 年度における研究発表は、1 の研究開発事業に関する項目のとおりである。

2) 資格付与事業として認定医(フェロー)・指導医(マスター)の更新状況を本法人の機関誌の学術会誌に掲示している。

6. 【全国各地の学術に関する啓発を図り、歯科医師等の教育研修の活性化に関すること】

各地区に在籍する会員並びに歯科医師の学術、教育の拡充を図るための諸行事を促進、活性化を図るために、平成 20 年度から助成金(補助金)を活動状況に応じ配分している。

地区研修会補助金を支給することで、地区会運営の活性化を図るとともに各研修会においては、内容の充実を図るため行っている事業である。

7. 【定時総会】

定時総会 平成 29 年 6 月 18 日 (日) 8:30～8:50 東京都千代田区 ホテルグランドパレス
議案

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告書の件 全員一致で承認

第 2 号議案 平成 28 年度収支決算書・監査報告の件 全員一致で承認

8. 【事業報告会】

平成 29 年度事業報告会

平成 30 年 3 月 11 日 (日) 9:30～10:00 ステーションコンファレンス東京
報告事項

- 1) 平成 29 年度 事業報告会・学術大会・市民公開講座について
- 2) 平成 30 年度事業計画について
- 3) 平成 30 年度予算について
- 4) 平成 30 年度 定時総会について
- 5) 平成 30 年度 学術講演会について
- 6) 各種委員会報告
- 7) NFC 運営状況について
- 8) 次年度の理事会・総会等日程について
- 9) 日本口腔インプラント学会報告

9. 【理事会の開催】

第 1 回理事会 平成 29 年 5 月 28 日（日） 13：00～15：30 日先研

議 案

- | | | |
|---------|------------------|---------|
| 第 1 号議案 | 平成 28 年度事業報告の件 | 全員一致で承認 |
| 第 2 号議案 | 平成 28 年度収支決算報告の件 | 全員一致で承認 |
| 第 3 号議案 | 入会・退会の件 | 全員一致で承認 |

理事会の決議の省略（定款第 31 条第 2 項）による理事会

提案事項 職員給与規程の新規整備など諸規程の変更等について

資料 諸規程の変更等について（案）

添付資料 1. 職員給与規程（案）

添付資料 2. 育児・介護休業等に関する規則（案）

理事会の決議があったものとみなされた日 平成 29 年 8 月 18 日

第 2 回理事会 平成 29 年 12 月 10 日（日） 12：00～15：10 浜松町センタービル 6 階

議 案

- | | | |
|---------|------------------------------|---------|
| 第 1 号議案 | 入退会の件 | 全員一致で承認 |
| 第 2 号議案 | 平成 29 年度 日先研功労賞受賞者の件 | 全員一致で承認 |
| 第 3 号議案 | 平成 29 年度 認証医（旧アソシエイトフェロー）等の件 | 全員一致で承認 |
| 第 4 号議案 | 平成 31 年度 総会・学術大会等開催地の件 | 全員一致で承認 |
| 第 5 号議案 | 定款変更の件 | 継続案件 |
| 第 6 号議案 | 諸規程改正の件 | |
| | ①選挙規程 | 継続案件 |
| | ②歯科衛生士認定講習会（認定セミナー）実施規定等 | 全員一致で承認 |
| 第 7 号議案 | 普通預金の一部定期預金化の件 | 全員一致で承認 |
| 第 8 号議案 | 歯科インプラント啓発図書の購入の件 | 継続案件 |

第 3 回理事会 平成 30 年 3 月 10 日（土） 18：00～20：10 日先研

議 案

- | | | |
|---------|-------------------|---------|
| 第 1 号議案 | 平成 30 年度事業計画(案)の件 | 全員一致で承認 |
| 第 2 号議案 | 平成 30 年度予算(案)の件 | 全員一致で承認 |

- 第3号議題 次期の理事会推薦理事の件 全員一致で承認。
監事、相談役、顧問の候補者についても併せて承認された。
- 第4号議題 監事定数の変更の件
① 定款変更 全員一致で承認
② 選挙規程改正 全員一致で承認
- 第5号議案 宿泊料等の取扱いの件
① 役員報酬・費用弁償に関する規程改正 全員一致で承認
② 宿泊費等支払運用内規制定 全員一致で承認
- 第6号議案 入会・退会についての件 全員一致で承認
- 第7号議案 定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 全員一致で承認
- 第8号議案 賛助会員へのサービスについて 全員一致で承認

別紙【2017年度】論文・発表一覧

区分	詳細
論文	三嶋直之、栗山壮一、柴垣博一、吉成正雄、早川 徹 紫外線照射チタンの親水性の経時的変化が細胞接着タンパク質吸着に与える影響 日本口腔インプラント学会誌 第30巻 第2号 40-93 2017.6
発表	宮井 崇宏 異なるフィクスチャーとアバットメントを用いて咬合再構成した1症例 平成29年9月24日 会場 仙台国際センター 日本口腔インプラント学会誌 第30巻特別号 O-2-7-16 52 2017.09
発表	山根 進 デンタルシミュレーターにおけるインプラントオーバーデンチャーの維持力 平成29年9月24日 会場 仙台国際センター 日本口腔インプラント学会誌 第30巻特別号 P-2-9-16 63 2017.09
発表	柴垣 博一、漆原 剛起、渡邊 隆彦、大殿 浩晃、今宮 圭太、高橋 泰久、奥森 直人、 築瀬 武史 インプラント周囲炎に陥った高齢患者に対するインプラントプラスティの有効性 平成30年2月11日 会場 鶴見大学記念館 第37回関東・甲信越支部学術大会 プログラム・抄録集 0-18 56
発表	前川 修一郎、竹島 明道、野村 明広、山内 大典、野々山和弘、江黒 徹、奥森 直人、 築瀬 武史 下顎遊離端欠損部にsplit crestによる骨造成と同時にインプラント治療を行った一症例 平成30年2月11日 会場 鶴見大学記念館 第37回関東・甲信越支部学術大会 プログラム・抄録集 0-24 59
発表	老川 秀紀、野本 秀材、野村 智義、老川 暁子 上顎大白歯部において自己歯牙移植を行った症例を通し、インプラント治療と比較した治療期間についての考察 平成30年2月11日 会場 鶴見大学記念館 第37回関東・甲信越支部学術大会 プログラム・抄録集 0-27 61
発表	今宮 圭太、金森 行泰、吉野 晃、浅川 和也、宝崎 岳彦、柴垣 博一、奥森 直人、 築瀬 武史 超親水性処チタンへの細胞接着性タンパク質フィブロネクチンの吸着特性 平成30年2月12日 会場 鶴見大学記念館 第37回関東・甲信越支部学術大会 プログラム・抄録集 P-3 63
発表	渡辺 孝夫、浅井 澄人、清水 治彦、鈴木 清一郎、岩野 清史 骨補填材を使わない1回法上顎洞底挙上術の臨床的検討 平成30年2月12日 会場 鶴見大学記念館 第37回関東・甲信越支部学術大会 プログラム・抄録集 0-14 54
発表	三浦由里、山根晃一、山根進 セメント合着されたジルコニアクラウンブリッジ撤去方法について 平成29年11月18日 会場 徳島大学大塚講堂 第37回中国・四国支部学術大会 プログラム・抄録集 0-14 54
発表	藤原 秀光 チタンのヒドロキシラジカル発生に関する実験的研究 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (30周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 101 2017.06
発表	金森 行泰 インプラント周囲のティッシュマネージメント 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (31周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 102 2017.07
発表	米山 俊之 歯科訪問診療で要介護高齢者に携わって思うこと 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (32周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 103 2017.08
発表	近藤 正嗣 フルジルコニアによるクラウン・ブリッジの即日補綴-Single Visit Zirconia- 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (33周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 104 2017.09
発表	今上 英樹 上顎前歯部に於けるAuto galvano crown (AGC)の有用性について 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (34周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 105 2017.10

別紙【2017年度】論文・発表一覧

発表	富口 直樹 チェアーサイドCAD/CAMシステムでの上部構造の制作について 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (35周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 106 2017.11
発表	松江 正芳 インプラントと歯牙移動を応用して治療した先天性欠損歯を持つ一症例 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (36周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 107 2017.12
発表	新崎 博文 他歯科医院において埋入したインプラントのトラブルが主訴で当科を来院した患者の症例について 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (37周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 108 2017.13
発表	金藤 哲明 マイクロスコープ治療の過去と展望 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (38周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 109 2017.14
発表	昇 直美 患者に寄り添う歯科衛生士としてのコーディネートとは 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (31周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 110 2017.07
発表	小林 由佳子 インプラントメンテナンスにおけるプロービング検査の重要性 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (32周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 111 2017.08
発表	野本 秀材 口腔内スキャナーがデジタルワークフローを変える Oral scanner will change digital workflow 平成29年6月18日 会場 ホテルグランドパレス (33周年学術講演会) 日本歯科先端技術研究所学術会誌 No.2 (創立30周年記念特別号) 102 2017.09

平成 29 年度事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する標記附属明細書には、事業報告の内容を補足する重要な事項はない。